



国会議事堂

前号では建築と言語に潜む共通の観点を通し、良好な「景観作り」のあり方を探りながら、総政の学びについて触れてきた。今回は都市政策学科の北原鉄也教授と国際政策学科の柴山太教授との対談から「政治」を総政で学ぶ意義を探る。

## どんな日本にしたいのか、その政治的構想を総政で学ぼう！

### ◆実はこんなにも身近な「政治」

(北原) 政治学ってとてもフランクな学問です。ね、身構えて授業を受けにくる学生が多いのですが、どうも高校の政治経済の授業などで硬いイメージを持っています。

(柴山) 政治が私たちの生活と深く繋がっていることや、それについてのきちんとした学問があることはあまり知られていないです。一方で学生は、日本の政治リテラシーが毎年のように目まぐるしく変わる現実をニュースなどで見聞きし、日本の政治について、考えても無駄と思いがちになります。

(北原) 政治とは簡単にいえば社会の統御、つまり私たちの社会をコントロールすることです。ですから、本当はとても身近な分野と言えます。ワイドショーで目にするのは地方が多いですが、ベルの政治の話が多いですから、なおさら「自分にはあまり関係ないこと」と政治を見てしまいがちになります。

(北原) 1960年代に公害反対などの市民運動が相次ぎ、それをきっかけに市民の政治参加の意識が高まりました。これまで農村部など、小さな共同体のルールの中で生活していた人々が都市へ移り住み、新たなルールを創る必要性が生まれたのも一つでしょう。

(柴山) 現在ではマスメディアが発達したことで、マス(集団)となった市民がどのように情報を受け止めて行動するのかという新たな問題も生まれています。ナチス政治のように「画的な考え」を突き進んだ場合、差別を助長するような極端な行動も起こり得ますから。

(柴山) 政治において一人ひとりが成熟していれば、そのような問題は起こらない。自分の考えをしっかりと持ち、情報を見極められる自立した人間が社会を支えて初めて、民主主義社会は成立していくのではないのでしょうか。

### ◆自立した市民による自立した政治を

(柴山) 「君たちが主役で民主主義は成り立っている」という教科書の言葉も、一見重く見えますが、少しずつ紐解いてみればとても身近であることが分かります。私たち皆で何かを決めるということ、これは皆に責任があり、きちんと働いて税金を納めるといふ当たり前の生活の向こう側に、民主主義を支えていく「市民」の存在があるということな



都市政策学科 北原 鉄也 教授

【担当授業科目】 都市政治学、都市政策

### ◆「決められない政治」と「劇場型政治」を超える「構想力ある政治」を!

(北原) 民主主義が浸透し、市民にさまざまな情報が行き渡るようになると、また別の問題が発生します。たとえばゴミ処理の問題です。ゴミ処理は社会全体にとって必要、しかし、いざ処理場が自分の住む地域になると絶対反対なんです。みんながいやだ、これはNIMBY問題といわれます。みんなが事情を知れば知るほど、個人の意見が聞き届けられれば届けられるほど、「私の裏庭にはいやだ」(Not In My Back Yard)というわけです。住民エゴと言えませう。使ったりせず、話し合い、暴力を解決するの、か、みんながどう納得するのか。これが民主主義政治の難しいところです。

(柴山) しかしその利害調整が私たちの生活、社会生活の中では必要不可欠で、結果、バランス感覚が問われるわけです。この感覚をどう養うかが政治学の最初の入口としては重要になります。

(北原) ただ現状の政治を批判するだけでなく、なぜ「決められない」のか、政治学の基本は政治における判断の難しさの理解にあり、こうした視点を身に付けることが大切です。

政治学を役者のように例えて、観客型民主主義とか劇場型政治とも言われます。リーダーシップを取る政治家に対して拍手喝采は贈るけれど、市民は政治に

### 民主主義の性格がもたらすさまざまな問題とは



国際政策学科 柴山 太 教授

【担当授業科目】 日本外交史、平和学、日本近代化論

関わっていないというパターンでも、これは民主主義がもつ性格の問題でもあります。こうした民主主義の難しさを踏まえた上で、政治家がどう動き、仕組みを整え、機能させていくかが重要なことです。

(柴山) 視点を変えれば、民主主義の抱える「消費者民主主義」を打破するためには、人に決めてもらう政治はやめて、自分が日本をどうするかという構想を示し、実行できる人間がいなくてダメでしょう。大きな構想、ビジョン、私に言わせると一流国としての日本の回復構想です。国力回復こそが待たれていない構想なのです。

### ◆現実の中から理想を創る政治学

(北原) 政治の役割は政策によって社会全体をコントロールすることであり、政治の本質は、既存のルールを壊して新しく創り上げる部分にあります。私たち市民の要求が政治システムによって調整され、政策として生み出される。それがまた社会にフィードバックされて、また要求を調整するという繰り返します。

### わかる! 総政用語

ゼミシンプオ…学科別にゼミ(研究演習Ⅰ、メディア工房Ⅰ)を紹介する学生団体SCSが主催するイベント。翌年から履修するゼミの所属先を選択するため、毎年多くの2年生が参加している。 LA… Learning Assistant(ラーニング・アシスタント)の略。 English Communication(EC)の授業で課される英文レポート作成のサポートやライティングスキルのレベルアップを支援する、優秀な成績でECを修了した3・4年生の先輩たち。



### 総合政策学科

「自然と人間の共生、人間と人間の共生」のあり方に関する学問横断的な議論を深め、実社会で活かすことのできる政策形成をめざす学科です。自然環境から食糧、紛争、貧困、人権、異文化理解など複雑に絡み合う地球規模の問題を解決していきます。



### メディア情報学科

政治、産業、経済、文化など多様な分野において情報通信技術やメディアを駆使して、人にやさしい豊かな情報社会に貢献できる、政策提案とマネジメントについて学ぶことのできる学科です。



### 都市政策学科

総合的かつグローバルな観点から都市における問題を発見し、快適で安全な都市空間を提案、創造、運営する能力を身につけることができる学科です。1級建築士の受験資格を得るための「建築士プログラム」も開講しています。



### 国際政策学科

国連が掲げる3つの課題である「国際社会における平和構築」「国際発展と開発」「人権の擁護」を中心として、国際政策の理論と実践を研究。グローバルな視野から政策分析・立案能力など総合的な実務能力を学びます。

◆総合政策学部は入学時には学科に所属せず、多様な分野を幅広く学習し、2年次から学科に所属して専門的な学びを開始します。

(北原 内向きと言われる日本の外交にも、突破力が求められ

(北原) 1945年当時、大都市が焼け野原だったところから急成長を遂げた世界2位にまで上りつめた日本の政治は、実は見るべきところがたくさんあります。ただ、今の日本は「行き詰った大国」と言え、今こそそれを破る突破力が必要で



ていますよね。外交にはあまりルールがないため簡単に処理しきれないこともあり、それぞれの国の政治の秩序意識や利権、歴史上の反省なども鮮明に表れるところですね。

(北原) その点は私もひしひしと感じています。他校はマスプロ教育(※注1)が多いですね。

(北原) 様々な大学で教えていると良くわかるのですが、総政の魅力の一つに、先生と生徒との距離の近さがあります。よくゼミの生徒に「他の私大に友達がいるなら、遊びに行つておいで」と言っていますね。

## 政治家、国際公務員を目指すなら総政

(柴山) 日本の外交の場合、敗戦をきっかけに脱イデオロギー化、脱暴力化が進みました。これ

には、政治学の進歩で政治が身近になったことも、深く関係していると思います。

詳しくはWEBで!!

※注1・・・大人数の学生に、大教室で講義を行う教育方法



研究演習 I



テーマを設定、課題の検討、仮説の提示、ケーススタディ、サーベイなどによる実証的検証を通したり、新たな仮説・発見の提示、政策提案への示唆というプロセスを踏み、研究を進めています。



日本外交史



え米国・中国・朝鮮半島・台湾との関係があまりにも深いために、国際関係史の方法を積極的に使用されています。また現在学会で議論されている論点や新しく得られた知見を、できるだけわかりやすく説明することをめざしています。

(柴山太教授)

## 総合政策学部を支えるサポート団体

### SCS (Student and Campus Supporter)

神戸三田キャンパス (KSC) の活性化を目的として、様々なサークル紹介・留学説明会、ゼミ選択の説明会、スポーツ大会など各種イベントを主催。1年生の演習授業「基礎演習」ではゼミ運営のサポート役として活躍してくれています。

### CSI (Computer Student Instructor)

CSI(Computer Student Instructor)は、コンピュータに関する能力向上に寄与することを目的とした、ボランティアな組織です。授業でチューターを務めたり、講習会を開催するなど、学生間での助言を行っています。

### 卒業記念パーティー実行委員会

卒業式当日、宝塚ホテル宴会場を貸し切つて行われる総政の伝統的行事、卒業記念パーティー(卒パ)の企画から運営まですべてを担います。卒業生にとっても思い出の時間になること間違いなし。

### 政策・情報学生交流会

毎年春・秋に全国各地から100名あまりの政策系学部の大学生が集結し、3泊4日の合宿を行う、政策・情報学生交流会。「大学生って、何をすればいいんだろう...」「政策って何??」様々なテーマで熱いディスカッションを交わします。



### 学生チャペル委員会

様々な先生による講話や学生による活動報告を通して、関学・総政のスピリットを学ぶチャペル・プログラム運営を担っています。様々な価値観や経験にふれることで自分を深めることができます。

日本の社会は、元来、安定した社会関係や人間関係に基づいた安心社会だと言われてきました。しかし、リストラや転勤、暴力事件の頻発など安心社会を脅かす事項が多数出てきました。

古川靖洋教授 (国際政策学科)

### 「安心社会から信頼社会へ」

山岸俊夫 著 (中公新書・1999年)

あなたに動じる総合政策学部の100冊

発行

関西学院大学 総合政策学部

〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地  
TEL.079-565-7601 FAX.079-565-7605

さらに詳しい内容はWEBで!

<http://www.kg-sps.jp>



Think Globally, Act Locally ~今、身近な問題から世界の扉を開く~